# 2022年度春期グリーフケア公開講座

開催

オンライン

## 上智大学グリーフケア研究所

# 悲嘆」について学ぶ

全世界では、思いがけない大災害や事故、テロへの恐怖と不安、個人的には、愛する家族や親せき、恩人、友人との死別や別離の苦しみ悲しみ、また、各自にとって大事な仕事やペットを失くした方々の悲しみに共感し、ともに歩めるために公開講座を開きます。

また、新型コロナウイルス感染防止対策として、

今期の開催は Web 上でのオンライン開催となりますのでご承知おきください。

2022年

開講期間:5月12日(木)~6月30日(木)全8回

開講時間:午後6時45分~午後8時15分(90分)

主 催:上智大学 グリーフケア研究所

応募期間: 2022年4月6日(水)午前10時から4月27日(水)午後9時までです。

募集定員:500名(定員に達し次第締切り)

受講料: 20.000円

参加条件:Web会議システム「Zoomミーティング」を使用しますので、

PCやタブレット端末等を利用してZoomへの接続が可能な方

#### 講座スケジュール

●講座の開催について変更が生じることも予想されます。予めご了承願います。

| 開催日      |               | 講師名(敬称略)                           | テーマ  |
|----------|---------------|------------------------------------|--|
| 5月12日(木) | 髙木 慶子         | 上智大学グリーフケア研究所 名誉所長                 | 不安定な社会にあっての悲嘆  |
| 5月19日(木) | 加藤一二三         | 日本将棋連盟所属 プロ棋士 九段<br>仙台白百合女子大学 客員教授 | 将棋の面白さと苦しさ   |
| 5月26日(木) | 大西 秀樹         | 埼玉医科大学国際医療センター<br>精神腫瘍科 教授         | 病院で悲嘆を診る ~遺族外来の現状と課題~                                  |
| 6月2日(木)  | 中北 富代         | 阪神淡路大震災遺族                          | 阪神・淡路大震災で我が子を失って…<br>-27年の軌跡-                          |
| 6月9日(木)  | 渡邊洋次郎         | 依存症回復施設職員<br>生活支援員、介護福祉士           | 非行・自傷行為・依存症、<br>繰り返した精神科病院入退院、刑務所服役。<br>絶望の淵で見つめた『いのち』 |
| 6月16日(木) | 名畑 孝<br>名畑ゆかり | 思温クリニック院長・内科医師<br>ピアニスト            | 留学先で急死した娘を持つ両親として<br>~未来を失くして見えてくるもの~                  |
| 6月23日(木) | 前嶋 和弘         | <br>  上智大学総合グローバル学部 教授             | 「差別」を克服する:アメリカ社会の絶え間ない挑戦                               |
| 6月30日(木) | 柳田邦男          | ノンフィクション作家                         | 大震災11年、慰霊の旅からの学び                                       |

## 悲嘆について学ぶ



コーディネーター 上智大学グリーフケア研究所 <sup>名誉所長</sup> **髙木 慶子** 

只今、世界中はコロナウイルス感染症に加え、ウクライナ情勢はいつになったら終息するのでしょうか。これらの脅威は人々に恐怖と不安を与えておりますが、それこそが、実は「悲嘆の中に人々が置かれている状況」であることも理解しておきたいと願っております。つまり、人は何かに対して恐怖と不安を持っていること自体が、悲嘆の状態であり、その状態ではイライラしながら、生活を送ることとなります。人間関係も仕事も上手くいきません。多くの場合は、「悲嘆」を親しい家族や人々との死別や離別を考えますが、悲嘆は決してこのような時期だけではなく、日常的な生活の中での困難や苦難の時も悲嘆状態であることを理解しておきたいと願っております。しかし悲嘆の最も深刻で重い状態は、親しい家族や友人との死別体験です。人間関係にも大きな影響を与えます。

この公開講座は決して、死別体験や悲惨な災害に遭遇したときの悲嘆状態でだけではなく、もっと日常的に体験する「悲嘆について」理解することによって、よりよい人間関係と平和な生活が送れますようにと願っての開催です。

#### ●コーディネーター プロフィール

熊本県生まれ。聖心女子大学文学部心理学科卒業。上智大学神学部修士課程修了。博士 (宗教文化)。現在、上智大学グリーフケア研究所 名誉所長。「生と死を考える会全国協議会」 会長。「兵庫・生と死を考える会」 会長。援助修道会会員。

二十数年来、ターミナル (終末期) にある人々のスピリチュアルケア、及び悲嘆にある人々の心のケアに携わる一方、学校教育現場で使用できる 「生と死の教育」 カリキュラムビデオを制作。幅広い分野で全国的にテレビや講演会で活躍中。

著書として、『喪失体験と悲嘆-阪神淡路大震災で子供と死別した34人の母親の言葉』(医学書院)、『大切な人をなくすということ』(PHP出版)、『悲しみの乗り越え方』(角川書店)、『悲しんでいい〜大災害とグリーフケア〜』(NHK出版)、『それでも誰かが支えてくれる』(大和出版)、『それでも人は生かされている』(PHP研究所)など多数。

#### 受講の流れ

#### 1. 申込み方法

申込みは、WEBでのエントリーとなります。電子メールや電話・FAX等での申込みは受け付けません。 応募期間は、2022年4月6日(水)午前10時から4月27日(水)午後9時までです。

1 以下のURLにアクセスしてください。 QRコードを読み込んでも結構です。

https://forms.gle/y6P9tjFbPGpc5hNr7



申込み画面になるので、 説明内容を確認の上、必要 事項を入力してください。 3 申込みが完了すると、ご入力頂いたメールアドレスに回答のコピーが自動的に送られてきます。

このメールが送られてくることで、申込み完了となります。 上記メールが届かない場合は、公開講座専用メールアドレスまでメールにてお問合せください。

#### 2. 受講料のお支払い

申込みを受け付けた方に「振込依頼書」を郵送いたしますので、振込期限までに指定の銀行口座に受講料をお振込みください。

#### 3. 受講可能通知メールの受け取り

受講料の入金が確認でき次第、「受講可能通知メール」をお送りします。ここでは、Zoomへの参加方法等についてお知らせいたします。

#### 4. オンライン接続テストの実施

Zoom参加に不安のある方は、以下の日時にZoomに接続し、Zoomからの音声や映像が正常に動作していることをチェックすることができます。なお、オンライン接続テスト用のZoom情報は、申込みが完了された方にお送りする「受講可能通知メール」にてお知らせいたします。

2022年4月20日(水)午後7時から午後8時 2022年5月7日(土)午後3時から午後4時

#### 5. 受講料の減額制度について ※2022年度から減額制度を改正いたします。

申請される方の身分により減額制度が適用させます。金額は、送付される「振込用紙」でご確認ください。対象となるのは、お申込み時に以下の身分の方となります。

・在 校 生……………… 上智学院が設置する学校の在校生が対象。

・グリーフケア人材養成講座受講生… グリーフケア研究所が主催するグリーフケア人材養成講座の受講生が対象。

・教職員………………………」上智学院が設置する学校に勤務する教職員の方が対象。

#### 6. 受講のキャンセルについて

お申込みが完了した後でも、ご事情により受講をキャンセルすることは可能ですが、状況によりキャンセル料が発生いたしますので、 ご承知おきください。なお、受講をキャンセルする場合は、必ず公開講座専用メールアドレスまでご連絡ください。

### 上智大学 グリーフケア研究所

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL: 03-3238-3776 公開講座専用メールアドレス: griefcare-seminor-ofc@sophia.ac.jp

申込みによりご提供いただきました個人情報は、当公開講座 の運営のみに使用し、上智学院個人情報保護に関する規程に 基づいて取扱わせていただきます。

本学院の個人情報の取扱いについては、

http://www.sophia.ac.jp/jpn/top/info/privacypolicyをご参照ください。